

第98回 令和7年10月7日（火）

孤独の大切さについて。

私たちが暮らしている日本は弥生時代から農耕で国が成り立ってきました。工業国になったのは明治以降の「富国強兵」政策が進められてからなので、およそ150年くらいです。

農業は全員で協力することが必要です。水源を独り占めするようなことがあればみんなが迷惑しますし、助け合いの精神や親切さが日本人の取り柄だと思います。

農業は一人でも自分勝手な行動をすると地域に多大な影響があります。何かを流して水源を汚してしまったり、田んぼをほったらかして雑草だらけにすると害虫を繁殖させてしまったりすることもあります。突出する行動が批判されることが多い、これも農耕民族の特徴かもしれません。別の言葉で同調圧力と言ったりします。

目立ちたくない、普通がいい、他の子と同じがいいという感覚が日本人は強いのかなと思います。個性がものすごく際立っているヨーロッパなどとは考え方が違うところが多いと思います。

現代になり社会がグローバル化してきた中で、日本人でも個性を大事にする人が増えてきたように思います。メジャーで活躍するイチローさんやダルビッシュさんなど、同調圧力を気にすることなく自分のやり方を貫いて実績を残しています。

どうすれば自分のやり方を見つけることができるのか。大切なのは一人になって自分を見つめる、内省する時間を作ることではないかと思います。

たまには友人や家族、そしてスマホの情報も全部シャットアウトして、自分はどんな人間で、何がしたいのかを外部の要素なしで考えてみても良いのではないのでしょうか。

実は人間は年を取るにつれて孤独になることが増えてきます。そのときになって「若いときにあれをしておけば良かった」と思っても「時すでに遅し」です。若いときにはしがらみがあったり、他人の目が気になってできなかったりしたことに後になって気づくことも往々にしてあります。

時々意図的に「孤独」をつくることは大切だと思います。それが学びの「振り返り＝リフレクション」と共通します。人生の選択で最も大事なものは自分の納得です。流れに任せていつの間にか時間ばかり過ぎてしまうことは、一生一度の人生なのですからもったいないと思います。